

〈主体的な学び〉で飛躍する、長崎県立大学。 長崎県立大学の独自の取り組みを、2回にわたって紹介しています。 12月号(情報セキュリティ学科特集) 10月号(国際経営学科特集)



“セキュリティ技術のデパート”で学ぶ 〈情報システム学部 情報セキュリティ学科〉

高度情報化社会の中、第一線で活躍できる基礎力と実践力をもった人材を育成する。

暗号技術から危機管理まで幅広い知識と技術を学べる総合的なカリキュラム

情報セキュリティ学科は、2016年に国内の4年制大学で初めて情報セキュリティを専門的に学べる学科として設置されました。ネットワークやデータベースといった情報科学の基礎を学んだうえで、セキュリティの専門的な知識とスキルを習得できるカリキュラムを編成し、13名の専任教員で指導にあたっています。教員の半数は民間企業経験者であることも特徴で、暗号・認証技術やネットワークセキュリティ、リスクマネジメントなどセキュリティのあらゆる分野を総合的かつ実践に即して学べる、いわば「セキュリティ技術のデパート」ともいえる環境が整っています。

それだけではありません。暗号通貨やサプライチェーン、医療現場などで使われ、社会インフラを担う新たな技術として注目を集める「ブロックチェーン」も、ベースになっているのはセキュリティ技術。今やセキュリティを学ぶことは「守る」だけでなく、自ら積極的に世の中の役に立ち、幅広いフィールドで活躍できるよう自身の可能性を広げることにもつながるのです。

実践的な学びで達成した3年連続就職率100%

学生の中には入学して初めてパソコンに触れる人も少なくありません。そういう人でも情報を基礎から総合的に学べる教育が本学科の特徴です。安全な仮想環境で攻撃・防御を体験できるセキュリティ演習室で、リアルなネットの世界を体感しながら実践力を磨き、セキュリティ対策の基礎を修得することが可能です。また、3年次の夏休みには企業インターンシップを実施。現場体験は学生の学びへのモチベーションの向上と、自らのやりたいことや適性を把握するため、の絶好の機会となっています。インターンシップ先から内定をいただくケースも多く、初めて卒業生を送り出した2019年以来、毎年就職率100%を達成しています。業種はIT企業(65%)、製造業(17%)が多く、卸売・小売業や公務員、学術研究の道に進む学生もいます。

※ブロックチェーンとは、暗号資産等を安全にやり取りするための仕組み。今後様々な分野への活用が期待される。



情報システム学部 情報セキュリティ学科 松崎 なつめ 学科長

産学連携施設を拠点にイノベーションを創出

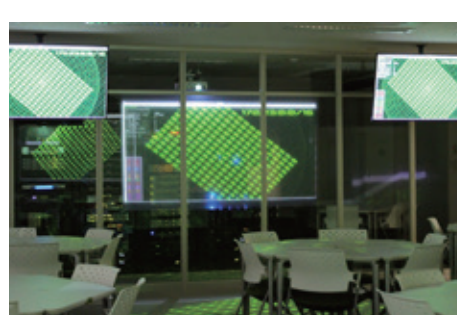
本学科は企業との産学連携にも力を入れており、株式会社ラックと長崎県長与町とのスマートシティの実証実験をはじめ、さまざまな共同研究を進めています。また、今後も学生、教員、企業、地域が交流しながらイノベーション創出に取り組むための拠点として、「情報セキュリティ産学共同研究センター(愛称: NAGASAKI セキュリティベース)」が完成しました。2023年の供用開始に向けて5つの企業も入居予定で、教育と研究の質を高め、実践力を備えたIT人材を育成できる環境がさらに充実します。



研究室と実験室の間に「コミュニケーション・ワークスペース」を配置し、学生同士・教員の距離が近い環境を整備



情報セキュリティ産学共同研究センターの中央にある「未来チャイロドール」は企業・学生・教員の交流の場に



サイバー攻撃を実体感で学ぶ「セキュリティ演習室」の規模を以前の2倍に拡大するなど、先進的な環境を整備



経営学部/地域創造学部(佐世保校) 〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123 TEL.0956-47-2191 FAX.0956-47-6941 国際社会学部/情報システム学部/看護栄養学部(シーボルト校) 〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1 TEL.095-813-5500 FAX.095-813-5220

- 経営学部[経営学科/国際経営学科] 地域創造学部[公共政策学科/実践経済学科] 国際社会学部[国際社会学科] 情報システム学部[情報システム学科/情報セキュリティ学科] 看護栄養学部[看護学科/栄養健康学科]